

第2章 マウスを用いた動物モデルに関する研究

目 次

I. 研究結果の概要	37
II. 研究者及び研究協力者名簿	41
III. 研究結果報告	42
1. 吸入曝露装置および曝露条件	42
(1) 実験動物	42
(2) ホルムアルデヒド吸入曝露装置	42
(3) ホルムアルデヒドガス曝露方法	43
(4) ホルムアルデヒド曝露濃度評価	43
(5) トルエン吸入曝露装置	43
(6) トルエン蒸気曝露方法	43
(7) トルエン曝露濃度評価	43
(8) OVA感作	44
(9) 体重変化	44
2. ホルムアルデヒドおよびトルエン吸入曝露によるマウスの くしゃみ様症状の定量、およびトルエン代謝物の測定	50
(1) 研究要旨	50
(2) 目的	50
(3) 方法	50
(4) 結果	50
(5) 考察	51
3. 低濃度のホルムアルデヒドに長期曝露されたマウス嗅覚系の形態学的解析	57
(1) 研究要旨	57
(2) 研究目的	57
(3) 方法	58
(4) 嗅球ニューロンの解析	58
(5) 大脳辺縁系ニューロンの解析	59
(6) 考察	60
4. 脳内海馬での情報処理変化の検討	67
(1) 研究要旨	67
(2) 研究目的	68
(3) 研究方法	68

(4) 結果研究	70
(5) 考察	72
(6) 結論	73
5. トルエン吸入曝露によるマウスへの生体影響に関する病理組織学的検索	
—気道粘膜上皮の変化と炎症細胞の動態を中心として—	80
(1) 研究要旨	80
(2) 目的	80
(3) 方法	80
(4) 結果	81
(5) 考察	81
(6) 参考文献	82
6. トルエン長期曝露による視床下部—下垂体—副腎軸の変化	87
(1) 研究要旨	87
(2) 研究目的と経過	87
(3) 研究方法	87
(4) 研究結果	88
(5) 考察と結果	88
(6) 引用文献	88
(7) Abstract	89
7. 低濃度長期ホルムアルデヒド及びトルエン曝露の免疫系及び記憶形成	
機構への免疫—神経軸を介した影響についての検討	93
(1) 研究要旨	93
(2) 研究目的	93
(3) 研究方法	94
(4) 結果	95
(5) 考察	96
(6) 参考文献	97
(7) Abstract	98